

# EGOTAN通信

— 江古田小学校 研究だより —

令和元年7月18日  
中野区立江古田小学校  
研究推進委員会  
第5号



EGOTAN

第3学年

研究主題 認め合い、思いやりをもって生きる児童の育成

— 自他のよさを知ることを通して —

第4回研究授業報告 ～7月10日(水)～

国語「たから島のぼうけん 組み立てにそって物語を書こう」 授業者：尾又 久美子  
講師：一般財団法人 教育調査研究所 研究部長 寺崎 千秋先生



EGOTAN

## 【本時のねらい】

理由をもとに自分の意見を出し合い、一週間の旅に持っていく班のアイテムを5つ決定する話し合い活動を通して、自分の思いを相手に伝える力や、意見の違いを認めて受容する力を身に付ける。

## 【授業のポイント】

本時は、組み立てに沿って物語を書く学習です。たから島で1週間生活するアイテムを決める話し合い活動を通して、自分の思いを相手に伝え合う力や、意見の違いを認めて授業する力を身に付けることを目指し、授業づくりを行いました。

## 【授業の様子】



## 指導の工夫

〈思考ツールの活用〉

「意見シート」の活用

〈話し合いの中での意見の伝え合い〉

「アクセルカード」の活用

〈少人数での話し合い〉

3～4人での少人数制での学習形態

## 【児童の発言から】

- 自分の意見が役に立ってよかった。
- ケンカもせずに仲良くなれた。
- 話を聞いてくれてありがとうって言いたかった。
- 自分の考えが言えてよかった。

## 【講師の寺崎先生より】

今回の授業では、書くことを目標とした過程で、話し合い活動を行う授業でした。話し合いを通して、子どもたちが本当にいろいろな考えをもっていると思いました。子どもたちは先生のルールに沿って話し合っていて、短冊や意見シートなどうまく使っていました。学習の段取りもよかったです。今後は、子どもの思考のプロセスを発問と答えの「間」をより大切にしていけるとよいと思います。

今後は差別や偏見があってはいけないということを直接的に学ぶ人権教育にかかわる個別的な視点での授業を、子どもの発達段階に応じて、更に考えてほしいです。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を生かして、より一層、授業力向上に努めていきます。